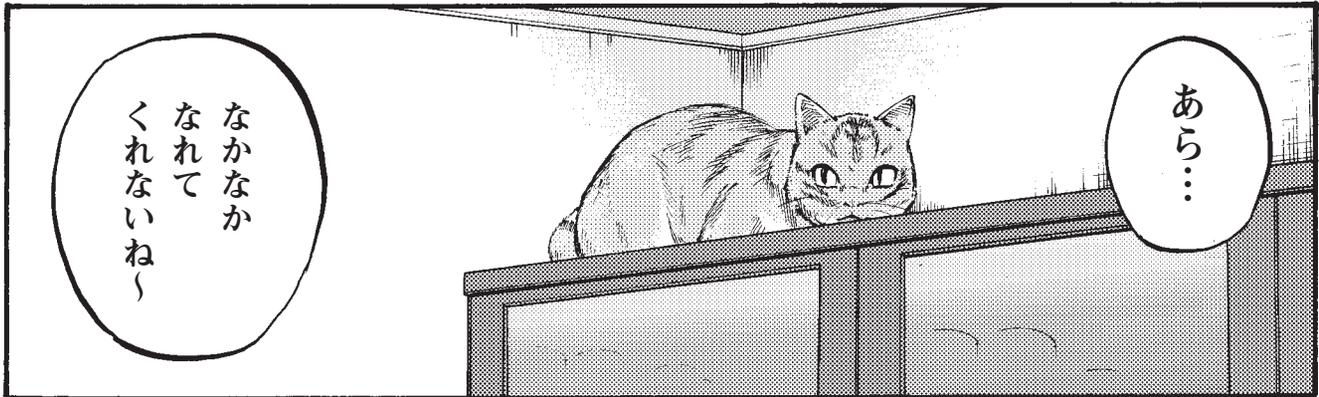


ハハ
あそこ
だよ

あれ？
どこいったの？



プリちゃん
ゴハンよ



なかなか
なれて
くれないね

あら…

私は伊田直子
看護部長になって8年
あと半年で60歳
定年を迎える

プリちゃん（プリン）は
私の部下
佐渡広美さんから
1か月前に預かった

HANAのうた。

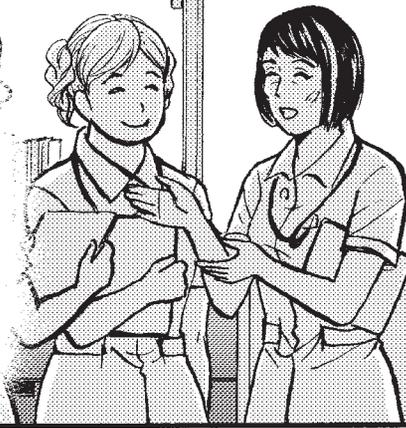
こしのりよう

ゴハンよ



半年前
佐渡さんは
大腸がんが見つかり
ステージIVと
告知された

彼女の強い意志
により
治療しながら
看護師を
つづけていた



残念ながら
治療の結果は
かんばしくなく
体調をくずし

勤務する病院の
近くの
総合病院に
入院していた



2週間後
おいつこたちと
デイズニールランドへ
行くことを
心の支えに
頑張っていた

伊田さんも
おわかりかと
思います

今の状態で
佐渡さんを
外出させるのは
大変危険です





はい
でも…

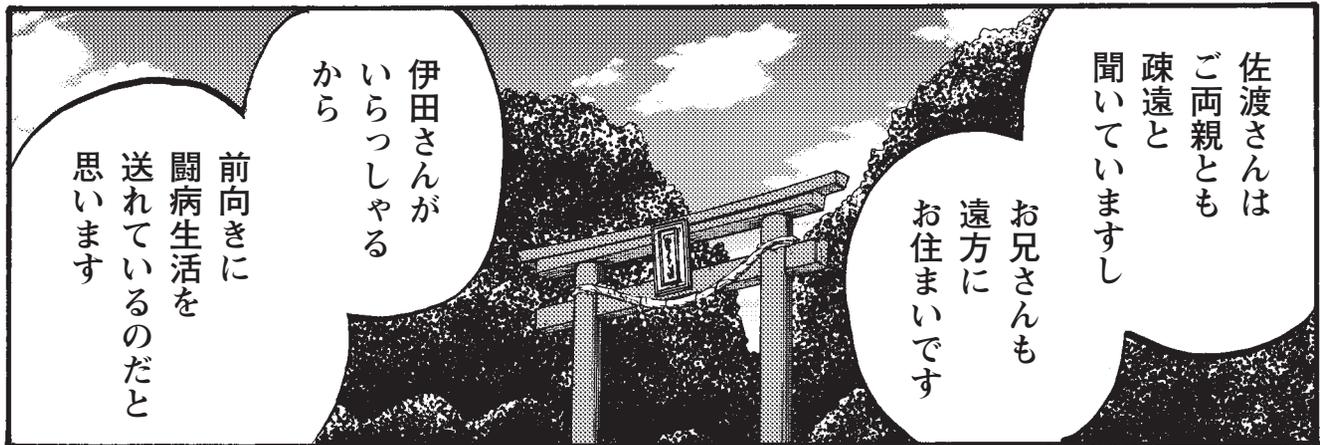
今
彼女を支えて
いるのは
その希望です

私も精一杯
フォローしますので
ご協力お願い
いたします



伊田さんは
佐渡さんに
とって
希望
ですね

え？

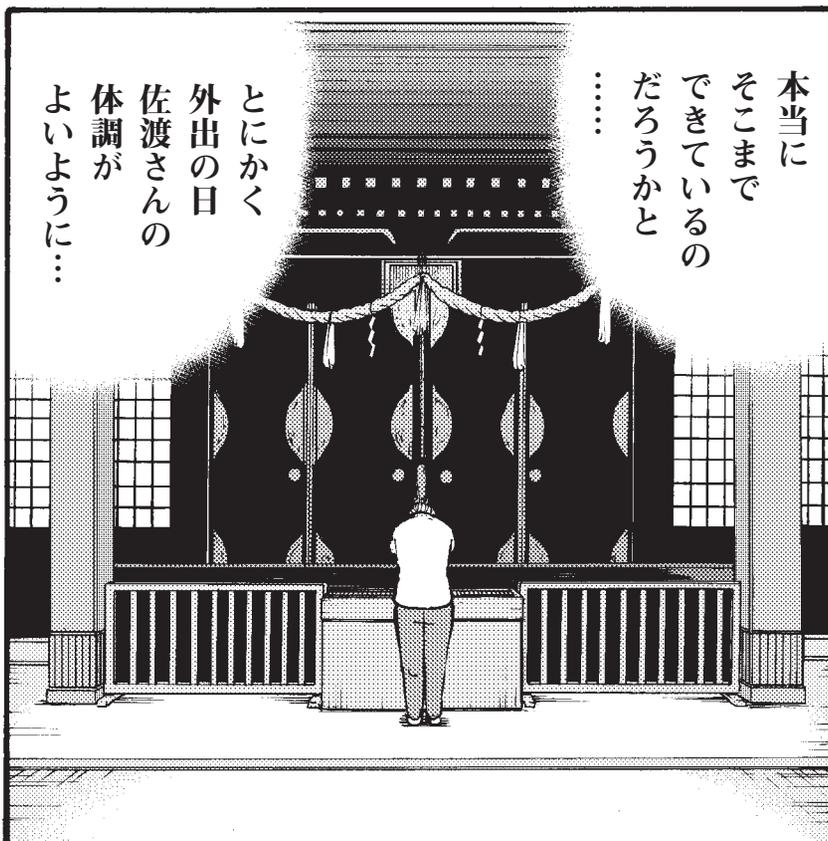


佐渡さんは
ご両親とも
疎遠と
聞いていますし

お兄さんも
遠方に
お住まいです

伊田さんが
いらつしやる
から

前向きに
闘病生活を
送れているのだと
思います



本当に
そこまで
できているの
だろうかと
……

とにかく
外出の日
佐渡さんの
体調が
よいように…



なんだか
気恥ずかし
かった…

2週間後

プリちゃん
行ってくるね

佐渡さんに
ディズニーランド
楽しんでもらって
くるわね



え?!

はい：
あ先生

どうか
されま…





残念ながら
最後の希望は
かなえられな
かった

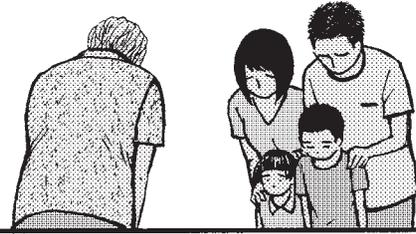
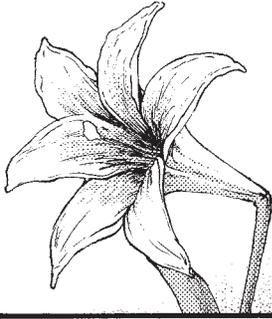
朝から
意識レベルが
低下し



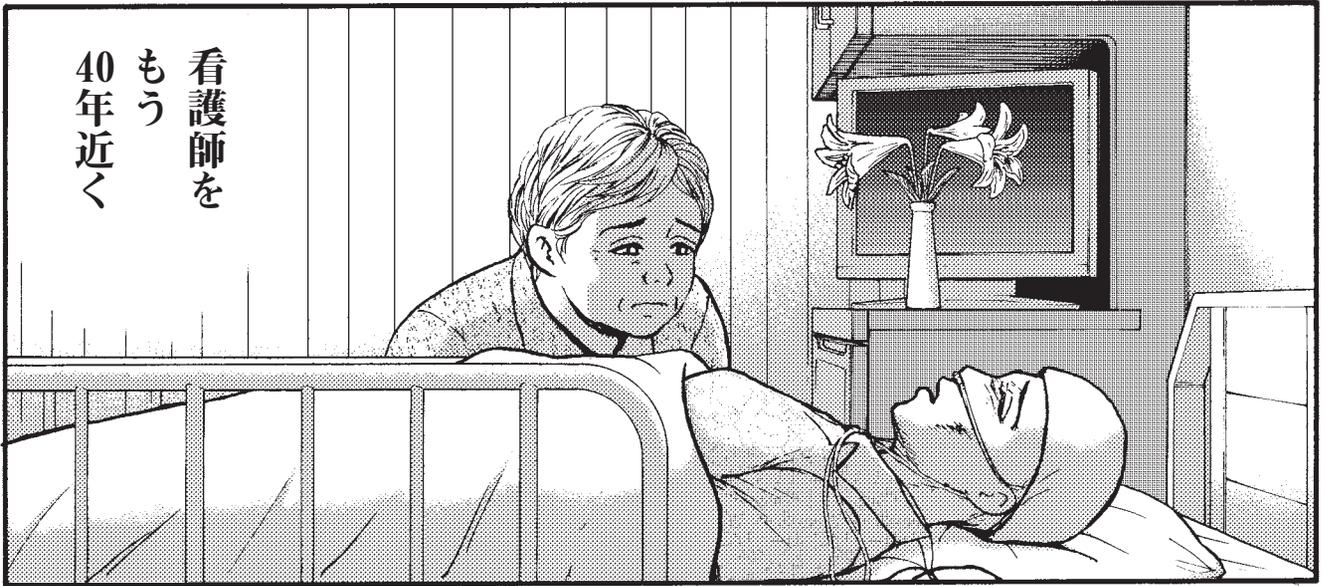
その晩
兄夫婦は
一度帰宅
することに
なったが

私は
もう少し
一緒にいたくて
残ることにした

帰れなかった
のだ



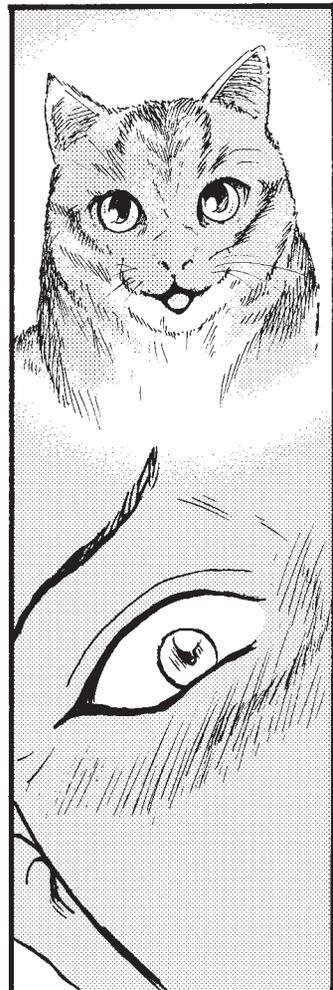
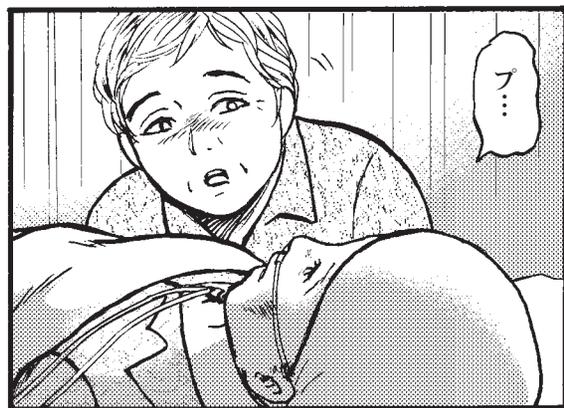
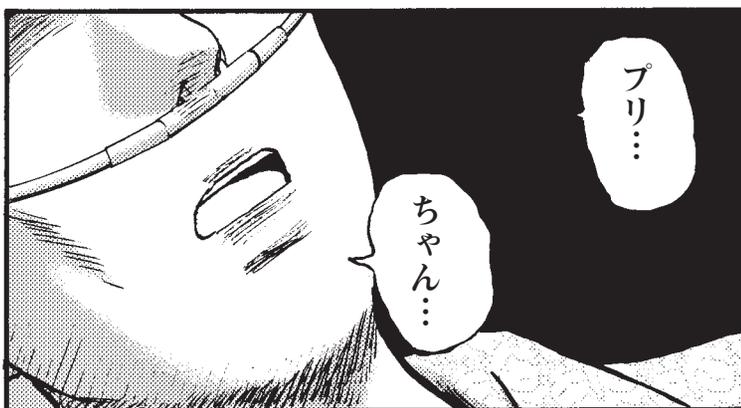
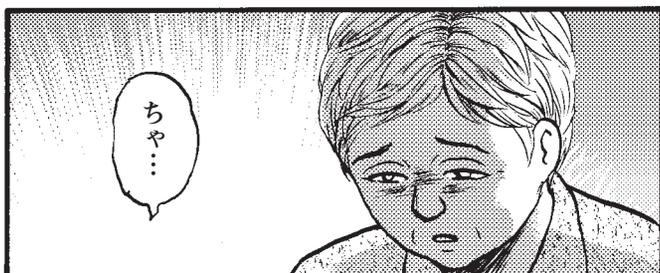
看護師を
もう
40年近く



嫌だけど
わかりたくも
ないけど

死が近づいて
いることを
実感して
しまう







…何してんの？

どたどた
ばたばた

どたどた
ばたばた



どたどた
ばたばた

どたどた
ばたばた



え…
ああ



あなた早くゲージ！

ミヤ

よし…つかまえた…



佐渡さんのところに連れていくの



ふ…ごめんね

ミヤ

カタ

どうするつもりだ？



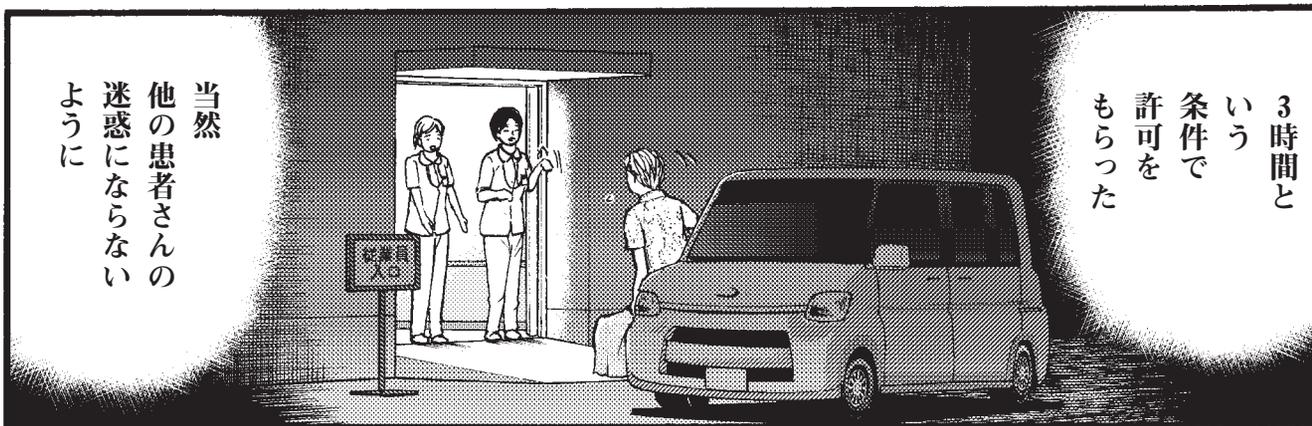
え!?!
佐渡さんて
入院中だろ!?!

病院に
動物連れて行って
いいのか?



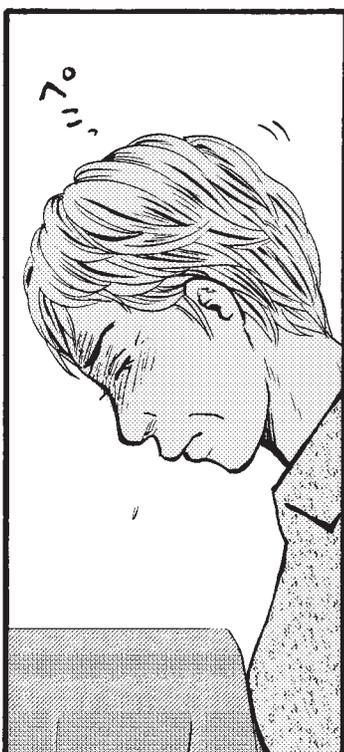
もちろん
いけないことだ

でも
入院中の病院に
頼み込み



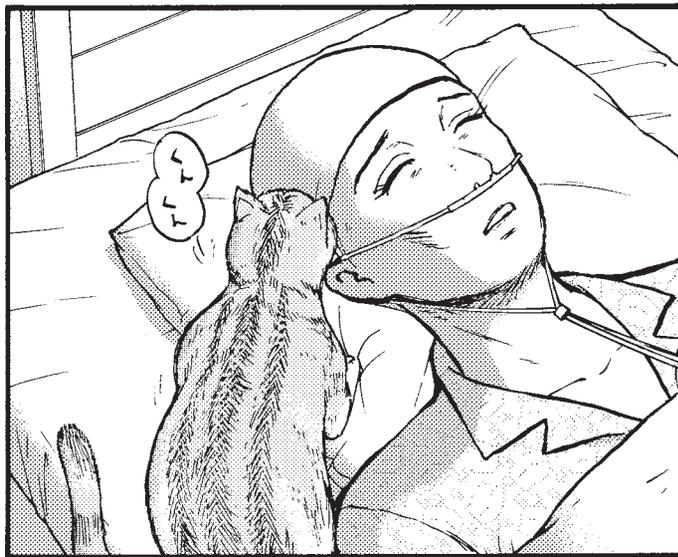
3時間と
いう
条件で
許可を
もらった

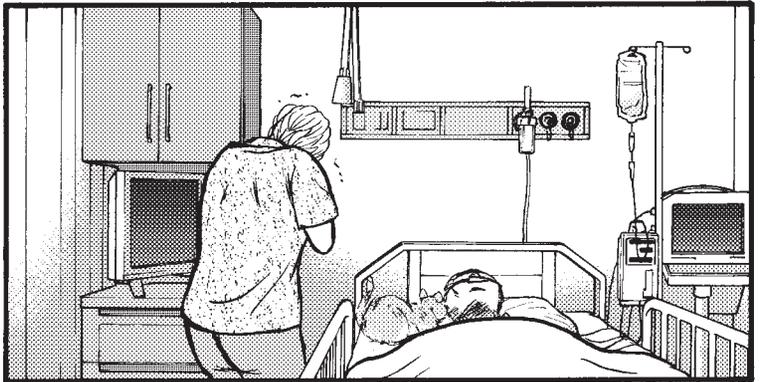
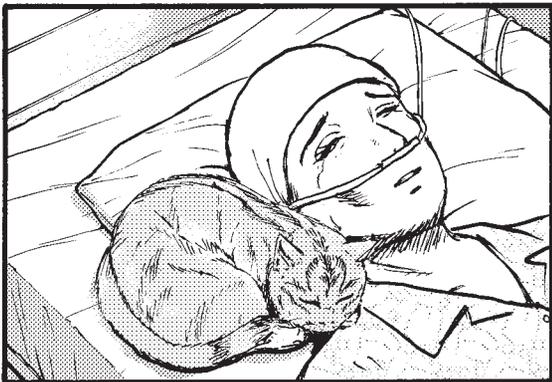
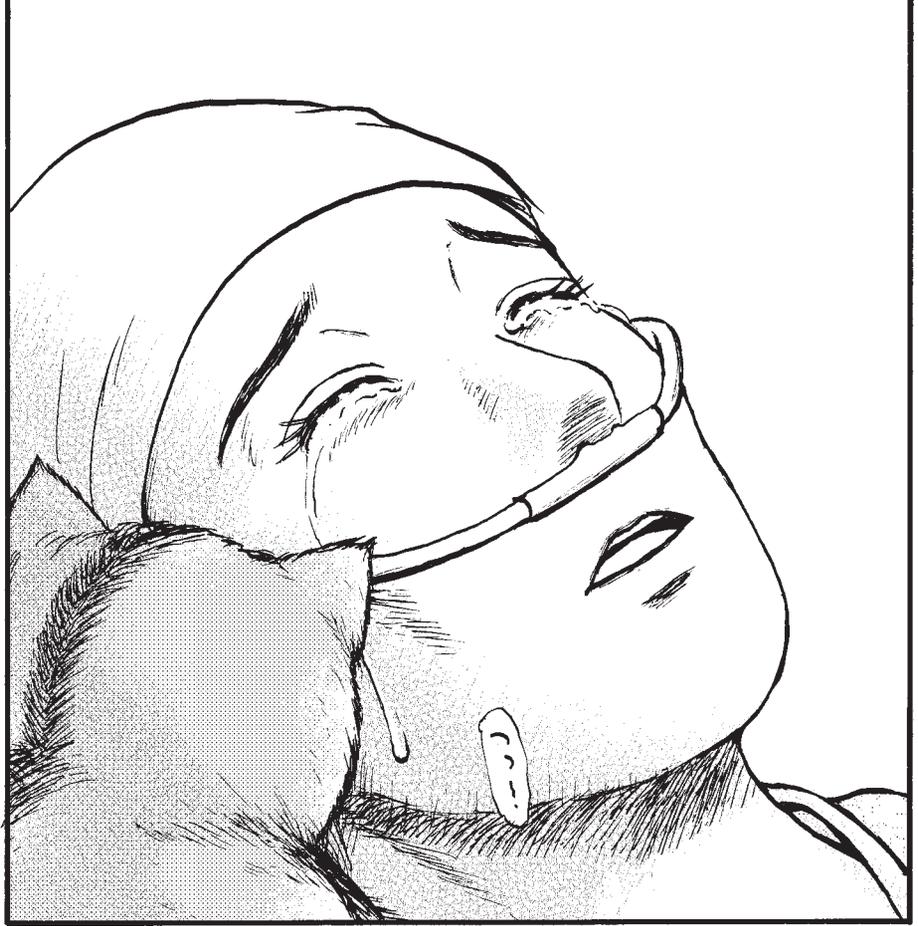
当然
他の患者さんの
迷惑にならない
ように



細心の
注意を払い
病室まで
運んだ

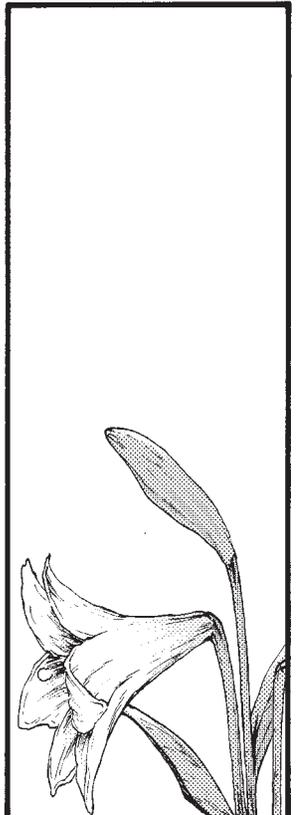
病院のスタッフも
事情を知って
協力してくれた





それから
3時間

プリちゃんは
彼女に
寄り添って
いた





いつもの
ように…

まるで
別れが
わかっている
ように…



その夜は
一睡もできず
翌朝一番で
勤務病院に
行った

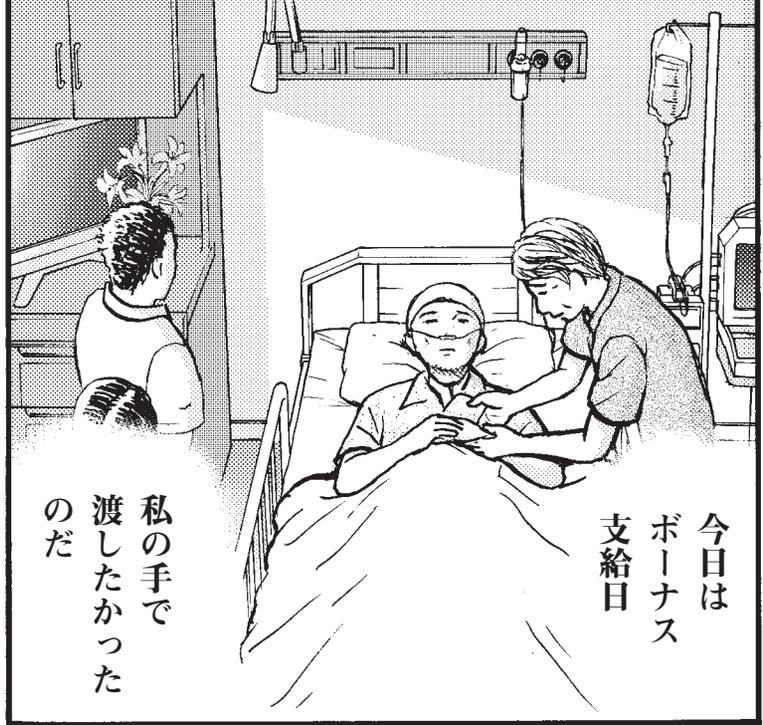


病院に
着くまで
あんなに
騒いでいた
プリちゃんだが
帰りは
とても
静かだった



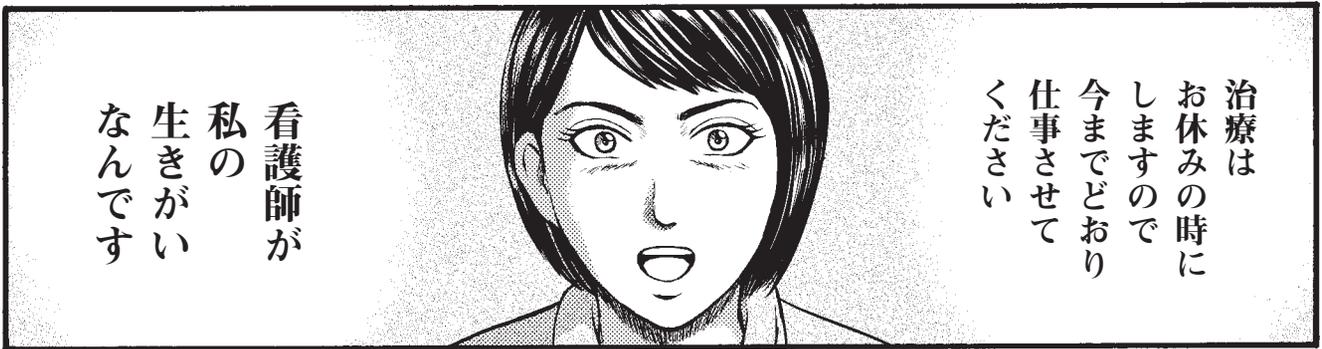
伝えたかった

そして



私の手で
渡したかった
のだ

今日は
ボーナス
支給日



看護師が
私の
生きがい
なんです

治療は
お休みの時に
しますので
今までどおり
仕事させて
ください

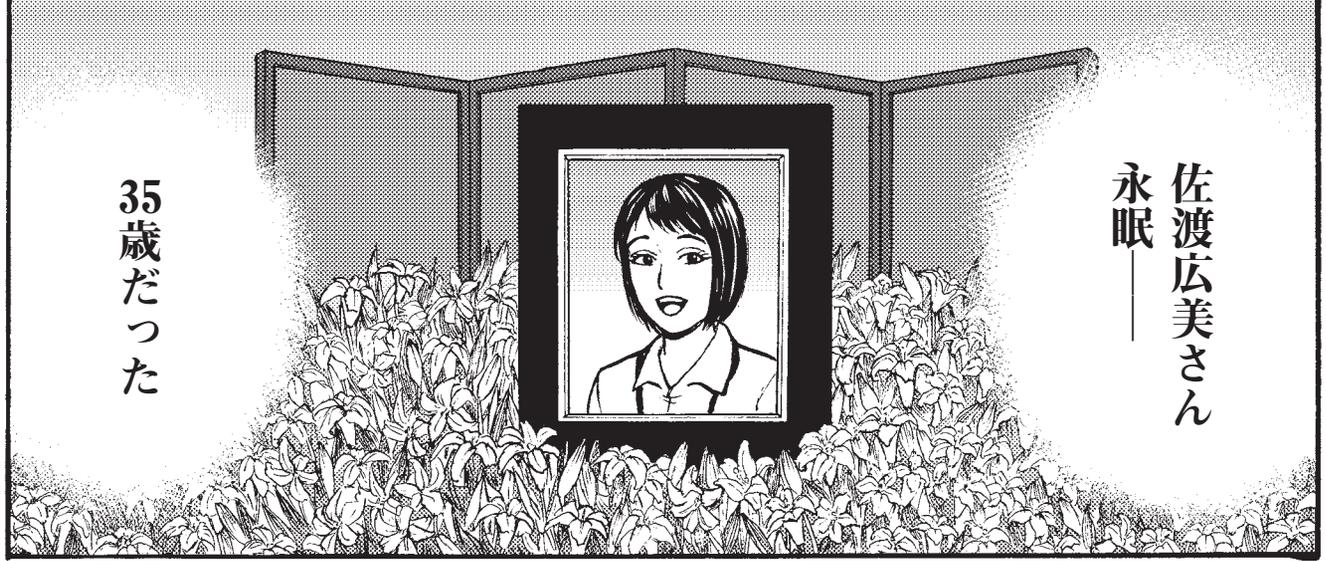


看護師よ



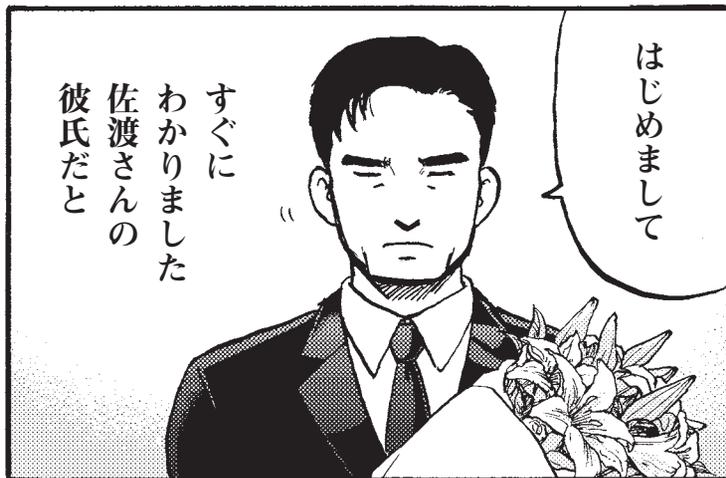
あなたは
最後の

最後まで



佐渡広美さん
永眠

35歳だった



はじめまして

すぐに
わかりました
佐渡さんの
彼氏だと



あの…
伊田さん
ですよ



いつも
病室に
ユリを
届けていた
のは
彼だったの
でしょう

伊田さんの
ことは
広美から
よく聞いて
いました



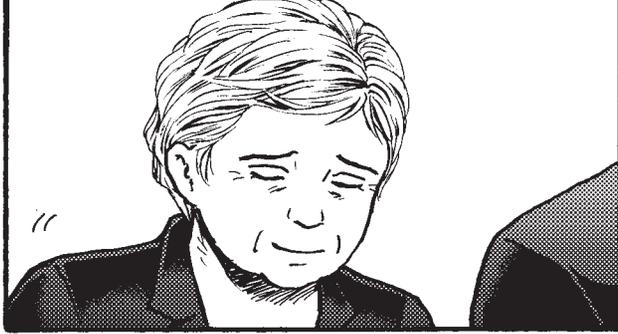
おかげ様で
大好きな看護師
を続けられ
ました

天国へ行っても
広美はきつと…



私は
親族の前に
顔を出せる
立場では
ありませんが

伊田さんには
どうしても
お礼を言いたくて
来ました



ほ… 本当に…
ありがとう
ございました

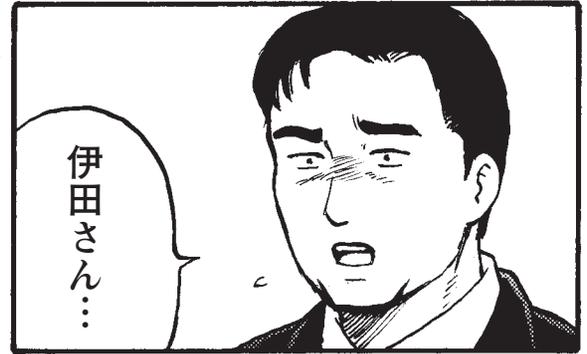


広美さんから
家のカギを
預かってますよ

お兄さんに
お返しするのは
落ち着いて
からで
いいでしょう



彼女も
兄夫婦には
言いにくくて
私に渡して
くれたのだろう



伊田さん…



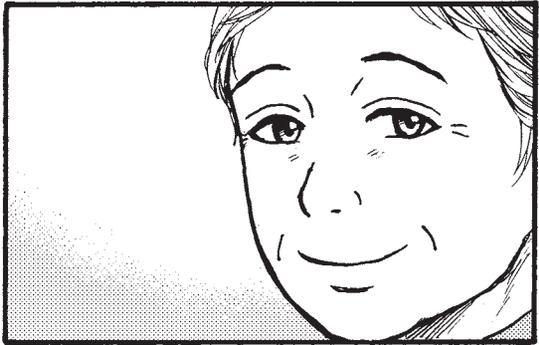
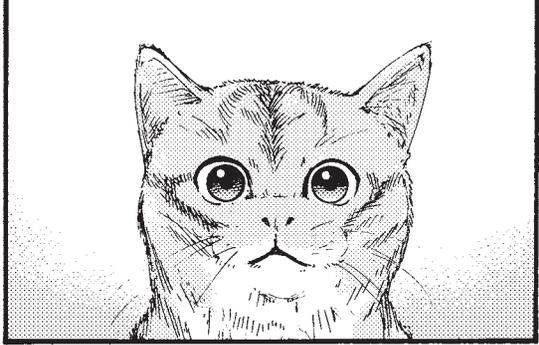
ちゃんと
お見送り
できました
と



彼は
彼女の部屋に
一晩泊まり
彼女の布団に
くるまって
寝た
まるで
彼女と一緒に
いるようだったと



3日後
彼から
手紙が
届いた



あと
5か月で60歳

定年退職後は
少しゆっくり
したいと思っ
ていたけど

今は
もう少し
続けたいなあと
思っている

